

事業名：健保と複数の民間事業者が連携したデータヘルス計画全体の成果連動報酬型保健事業

健保名：アドバンテスト健康保険組合

### エグゼクティブサマリー

- ・健保と複数の民間事業者が目標を共有し、役割分担の上、連携して保健事業を推進することで**データヘルス計画全体（トータルの生活習慣病対策）**の成果連動報酬型保健事業を実施。
- ・目的・成果指標を明確にし、ロジックモデル通りに成果を評価。短期成果 中期成果については十分な成果とした。最終成果に向けて、さらなるデータの取得、期間、指標等改善を図っていききたい。

#### 健康課題

特定保健指導該当率の減少  
**トータルの生活習慣病対策の成果**

##### 生活習慣の改善

- 在宅勤務下の定期的な運動習慣づけ
- 喫煙者の禁煙の推進

##### 生活習慣病リスクの低下

- 若年層からの肥満解消
- 要治療者の服薬コントロール

健保と複数の民間委託事業者の連携

#### 事業課題

データヘルス計画全体の成果を評価する  
**長期成果（医療費）の可視化**

##### 民間委託事業者の動機づけ強化

- 複数の民間委託事業者が健保全体の成果目標達成に向けて連携

##### データヘルス計画全体の長期成果評価

- データヘルス計画全体の長期成果（医療費）をロジックモデルに基づき算出

### 健保と複数の民間事業者が連携したデータヘルス計画全体の成果連動型保健事業（PFS）



短期成果  
加入者の行動変容

**食事・運動習慣付け**



中期成果  
介入指導の成果

**体重減少・禁煙**



最終成果  
医療費の適正化

**指標改善・継続評価**

## 1. 目的

<保健事業としての目的>

- 第2期データヘルス計画後期（2021-2023年度）の最重要指標「特定保健指導該当率の減少」達成のため、特定保健指導に加えて重点アクションA～Dを実施する。

第2期データヘルス計画後期（2021-2023年度）重点アクション

アクションプラン **重点アクションA～Dを実施し、最重要指標を達成**

最重要指標 **特定保健指導該当率の減少**

重点アクション

- |                               |             |
|-------------------------------|-------------|
| <b>A 被保険者全体に対する食事・生活習慣の改善</b> | 健康増進アプリ     |
| <b>B 喫煙者への禁煙支援</b>            | オンライン禁煙支援   |
| <b>C 高リスク者に対する糖尿病重症化予防支援</b>  | オンライン生活習慣指導 |
| <b>D 若年肥満者等に対する疾病予防支援</b>     | オンライン食事指導   |

※特定保健指導や受診勧奨の重点事業は継続

# 1. 目的

## <PFS事業としての目的>

- 健保と複数の民間事業者が目標を共有し、役割分担の上、連携して保健事業を推進することで
- 目的1 **データヘルス計画全体（トータルの生活習慣病対策）**の成果連動型報酬事業を実現する
  - 目的2 複数年のデータヘルス計画において、**単年度契約**で成果連動型報酬事業を実現する
  - 目的3 他健保においても**共通と想定される健康課題**を解決するための事業モデルを構築する

### 健康課題

特定保健指導該当率の減少  
**トータルの生活習慣病対策の成果**

#### 生活習慣の改善

- 在宅勤務下の定期的な運動習慣づけ
- 喫煙者の禁煙の推進

#### 生活習慣病リスクの低下

- 若年層からの肥満解消
- 要治療者の服薬コントロール

健保と複数の民間委託事業者の連携

### 事業課題

データヘルス計画全体の成果を評価する  
**長期成果（医療費）の可視化**

#### 民間委託事業者の動機づけ強化

- 複数の民間委託事業者が健保全体の成果目標達成に向けて連携

#### データヘルス計画全体の長期成果評価

- データヘルス計画全体の長期成果（医療費）をロジックモデルに基づき算出

## 健保と複数の民間事業者が連携したデータヘルス計画全体の成果連動型保健事業（PFS）

短期成果  
加入者の行動変容

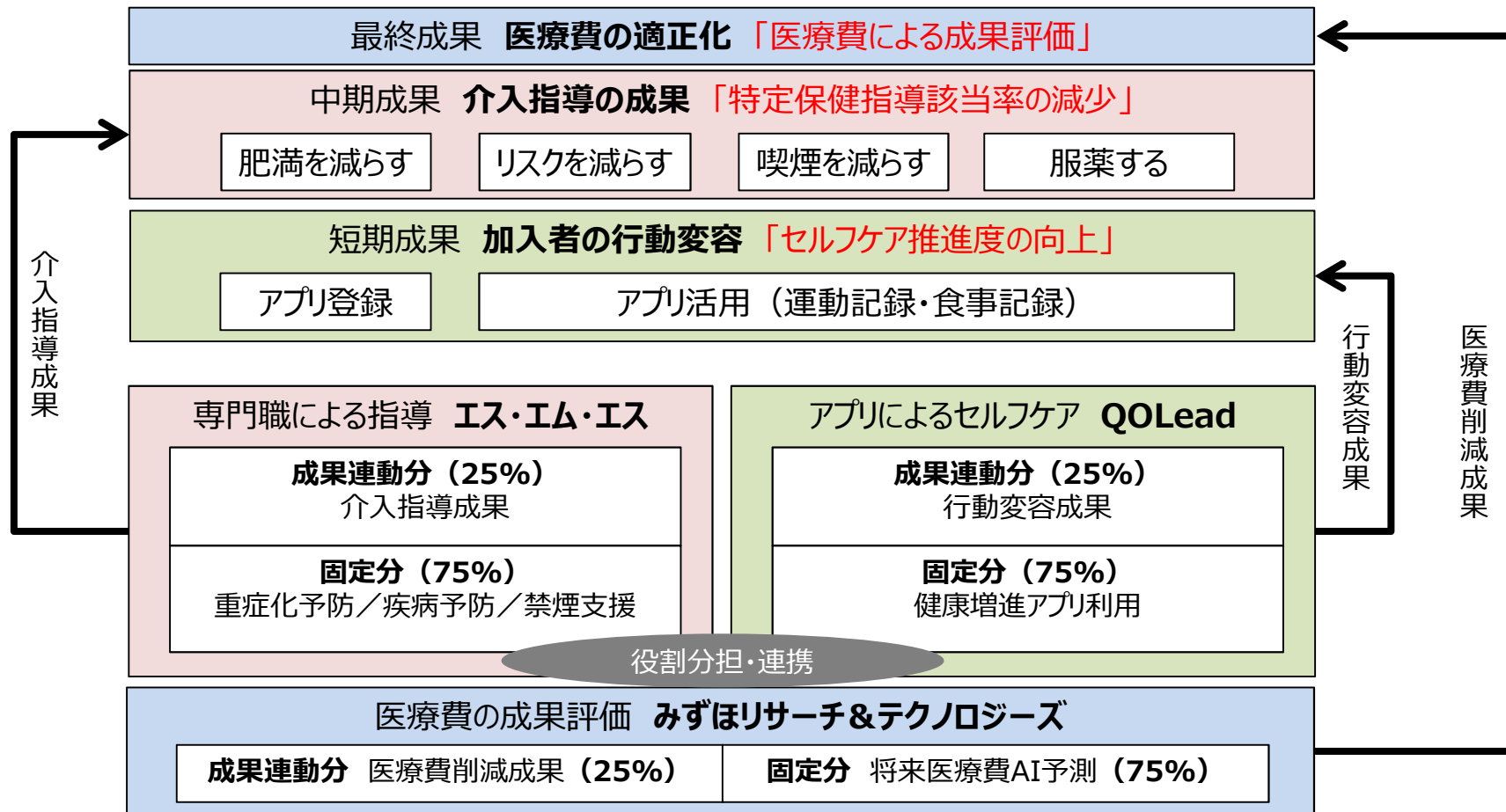
中期成果  
介入指導の成果

最終成果  
医療費の適正化

## 2. 事業内容

- 短期成果「加入者の行動変容」、中期成果「介入指導の成果」、長期成果「医療費の適正化」とし、複数の委託事業者が役割分担・連携して短期・中期・長期成果目標を達成する。

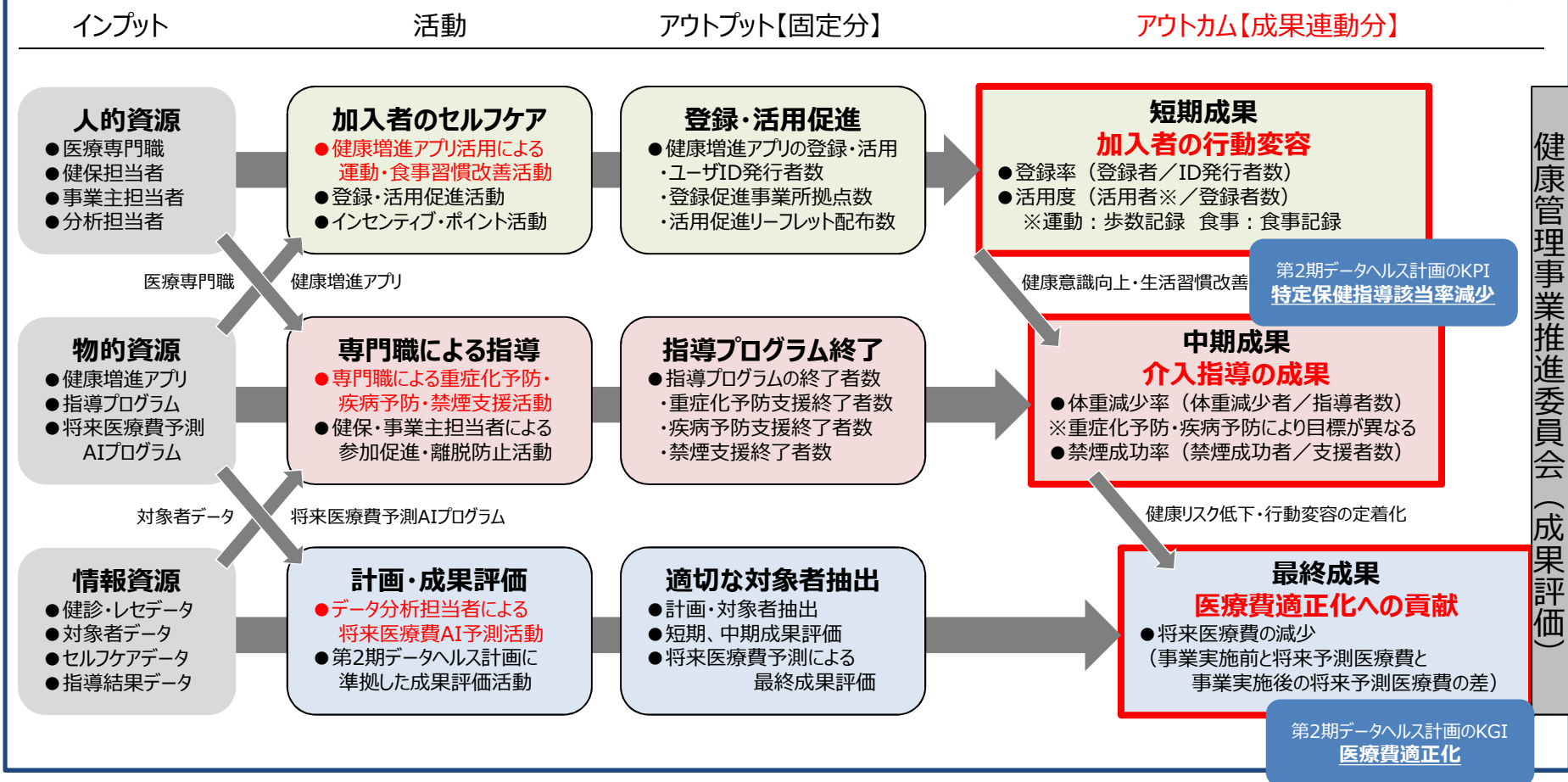
### データヘルス計画の成果目標を関係者全体で共有



### 3. PFS事業の支払条件・ロジックモデル

●短期、中期、最終成果指標を複数の民間事業者が連携して達成することで、データヘルス計画全体の KPI（特保該当率減少）とKGI（医療費適正化）の可視化を両立するロジック・モデルとする。

第2期データヘルス計画後半（2021-2023年度）のロジック・モデル



### 3. PFS事業の支払条件・ロジックモデル

●短期成果「加入者の行動変容」、中期成果「介入指導の成果」、長期成果「医療費の適正化」を複数の委託事業者が担当。健康管理事業推進委員会にて成果報告し、健保理事長が最終評価。

定義	A 短期成果 加入者の行動変容	B 中期成果 介入指導の成果	C 長期成果 医療費の適正化
指標	セルフケア推進度の向上	特定保健指導該当率の減少	将来医療費の減少
保健事業	アプリによる健康増進	重症化予防・疾病予防・禁煙支援	医療費による成果評価
採用理由	意識づけ・行動変容の基盤	トータルの生活習慣病対策	保健事業の財政効果の可視化
計算方法	①登録率＝登録者／ID発行者数 ②活用度＝活用量※／登録者数 ※活用量：・食事記録実施・歩数記録実施	①重症化予防：体重減少率＝減少者／介入者数 ②疾病予防：体重減少率＝減少者／介入者数 ③禁煙支援：禁煙成功率＝禁煙者／介入者数	①将来医療費改善効果※ ※将来医療費改善効果： 将来医療費推計（実施・介入前）と将来医療費推計（実施・介入後）の差
対象データ	①登録者データ ②活用度データ	①②③介入結果データ	①BMI・検査値・問診・レセデータ
データ入手方法	健康増進アプリから入手	介入プログラムから入手	健保保有データ等から入手
2021年度目標	①登録率：15% （例登録者300／ID発行者2,000人） ②活用度：登録者のうち実施期間中（90日）に以下のいずれかを達成した者 食事記録 15% 歩数記録 15%	①重症化予防による服薬開始率：50% （体重減少者2／介入者4人） ②疾病予防による体重減少率：50% （体重減少者30／介入者60人） ③禁煙支援による禁煙成功率：50% （禁煙成功者8／介入者15人）	①アプリ及び介入者の 将来医療費改善効果： 年間1,000円／人 ②介入者の 将来医療費改善効果： 年間10,000円／人 ※将来医療費改善効果算出方法は後述
根拠	第2期データヘルス計画の目標	第2期データヘルス計画の目標	2020年度実績をもとに算出
評価時期	2022年3月	2022年3月	2022年3月

成果指標設定

#### 4. 主な活動報告

●Aアプリ登録率は90%達成、実質3カ月という短期間で様々なアイデア、施策を委託事業者とともに講じたことにより、既存のアプリを大きく超える登録率となったことを評価。アプリ活用率は目標を達成し、アプリのコンテンツを評価。B-1禁煙は禁煙・減煙、B-2糖尿病重症化予防、B-3若年食事指導は体重減少の成果目標を達成したことを評価。

	成果指標	実績	成果評価
<b>A 被保険者全体に対する 食事・生活習慣の改善 ・健康増進アプリ</b>	アプリ登録率15% アプリ活用率15% (運動または食事)	登録率13.5% 運動活用率86% 食事活用率21%	90%達成 達成 達成
<b>B-1 喫煙者(肥満者 を含む)への禁煙支援 ・オンライン禁煙支援</b>	禁・減煙成功率50%	成功率88%	達成
<b>B-2 高リスク者に対する 糖尿病重症化予防支援 ・オンライン生活習慣指導</b>	体重減少率50%	減少率60%	達成
<b>B-3 若年肥満者等に対 する疾病予防支援 ・オンライン食事指導</b>	体重減少率50%	減少率69%	達成



#### 4. 主な活動報告

### A 被保険者全体に対する食事・生活習慣の改善 ・健康増進アプリの導入 対象者（被保険者全員）

#### ①アプリ登録率

目標15%に対し実績13.5%（90%達成）、既存アプリは登録率6%程度であり、目標は未達成であるが、実質3ヵ月間の登録率としては十分であると評価した。

なお、厚労省には他健保の初年度実績（10%程度）を鑑み、目標を高く申請している。

#### ②アプリ活用度

目標50%に対し、運動活用度86%、食事活用度21%であり、目標達成とした。

※母数は1月末時点のID発行者数（2,755名分）にて算出

##### 【指標定義】

##### ①健康増進アプリ※1登録率

アプリ登録者数／ID発行者数※2（%）

※1 健康増進アプリの説明：株式会社QOLismが提供する健康増進アプリ「QOLism」

※2 ID発行者の定義：2022年1月末時点で健保に在籍する被保険者

##### ②健康増進アプリ活用度

アプリ活用者数※3／アプリ登録者数（%）

※3 活用者の定義（以下のいずれかを達成した者）

・運動：アプリの歩数記録を行った者

・食事：アプリの食事記録を行った者

評価期間は2021年11月1日～2022年3月16日

##### 【指標計算方法】

##### ①健康増進アプリ登録率

・健康増進アプリ「QOLism」のスマートフォンへのインストール、

メールアドレス等の初期設定を実施した者の人数／ユーザIDを発行した者の人数（%）

##### ②健康増進アプリ活用度

・健康増進アプリ「QOLism」の登録歩数データ、食事記録データを基に運動、食事の活用度を個人ごとに計算

・アプリを活用した人数／アプリを登録した者の人数（%）

##### 【指標目標値】

##### 当該年度（2021年度）

①健康増進アプリ登録率：15%以上

②健康増進アプリ活用度：運動または食事の活用度15%以上

※本事業において初めて健康増進アプリを導入、かつ、事業期間が短いため、他健保での初年度実績（10%程度）等を鑑み、目標を高く設定（15%）している。

区分	11月	12月	1月
登録者数	116	168	303
登録率（※）	4.2%	6.1%	11.0%

##### （参考）最終評価（3/22）時点

区分	直近
登録者数	372
登録率（※）	13.5%

※月4回以上利用ユーザー数

分類	月数	11月	12月	1月	延べ平均
運動 歩数記録	対象者数	115名	143名	246名	-
	割合	99%	85%	81%	86%
食事 （※毎週利用）	対象者数	37名	38名	49名	-
	割合	32%	23%	16%	21%
登録者数	人数	116	168	303	-



#### 4. 主な活動報告

- 健康増進アプリの概要は以下の通りである。



はじめて。  
健康的な生活習慣＝「健康リズム」が  
自然と身に付くアプリ

# QOLism

(キューオリズム)

写真撮って食事記録/  
腹囲記録等  
気軽に使えて楽しい  
機能を多数搭載♪

登録は  
5分で完了！  
(登録方法は  
最終ページに記載)

健康習慣  
始めてみましょう☆

消費 kcal 1,234  
摂取 kcal 1,234 / 2,200

## 4. 主な活動報告

### ● 健康増進アプリの概要は以下の通りである。

QOLismは、健康的な生活習慣＝「健康リズム」が自然と身に付くよう設計されたアプリです。  
食事記録、腹囲計測、運動といった様々な機能で、あなたの健康をサポートします。

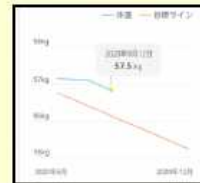


QOLismの特徴的な機能を4つ紹介！



#### AIが無理のない目標・計画の作成をサポート

理想の姿や質問に答えると、AIが定性的・定量的な目標作成・計画策定をサポートします。あなたに合った計画で取り組みましょう！



#### ウェアラブルデバイスと連携して歩数を自動記録

スマホ・ウェアラブルデバイスと連携して歩数が自動記録されます！ヘルスケアアプリトップレベルの連携デバイス数です



fitbit



Garmin



APPLEWATCH



OMRON



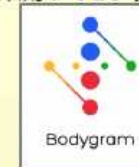
#### 食事画像判別AIを使った食事記録・栄養計算

食事の写真を撮るだけで食事記録・栄養計算ができる「カロリーチェック」の機能であなたの食生活をサポートします！



#### ヘルスケアアプリ初！写真2枚で簡単に腹囲計測

AI身体採寸サービス「Bodygram」は、着替えや撮影背景を気にせず2枚の写真を撮るだけで、身体サイズの20箇所以上の計測ができます！



#### 4. 主な活動報告

##### ● 健康増進アプリの登録促進のために実施した活動は以下の通りである。

導入状況、活用状況を都度分析しながら以下を実施

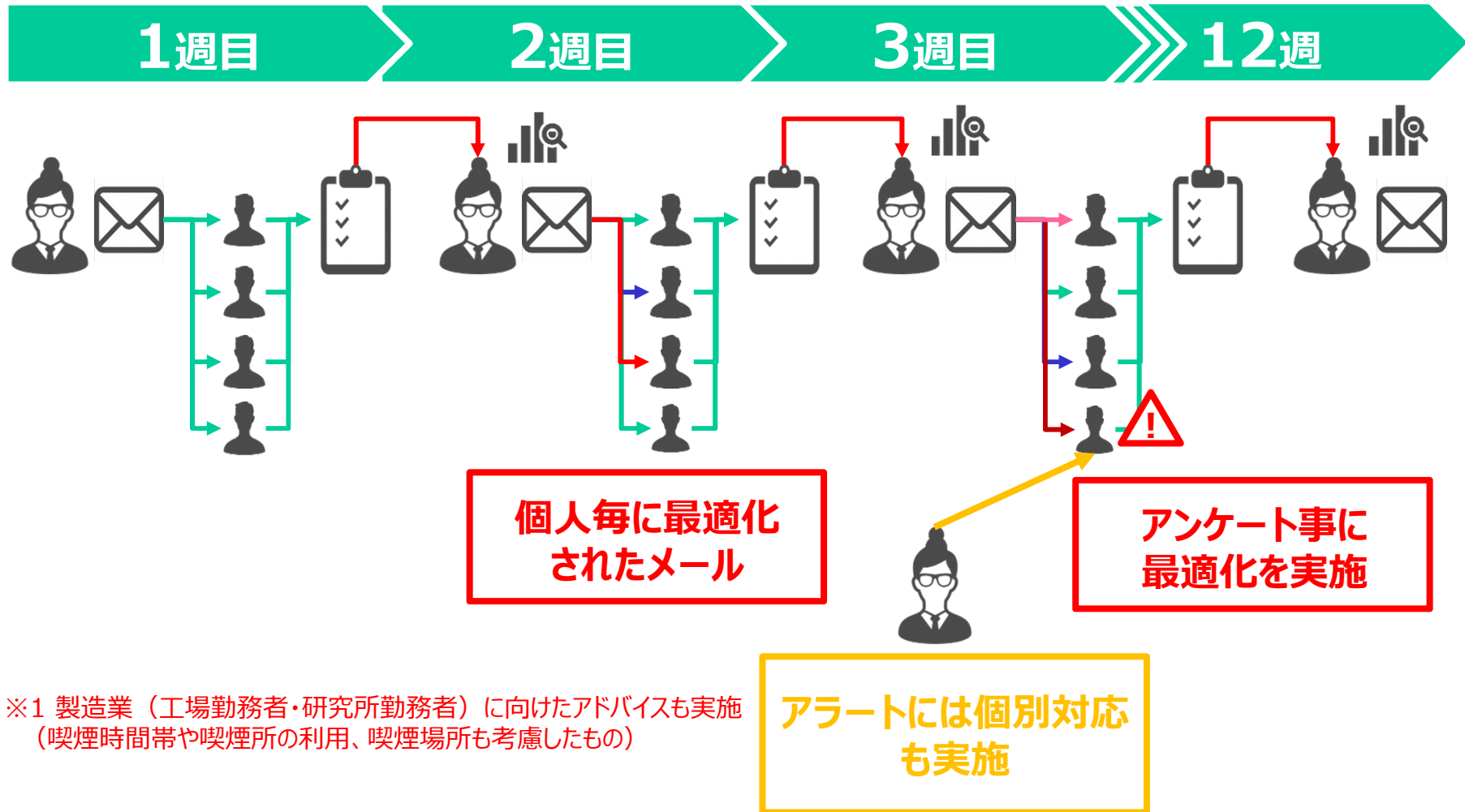
##### 【導入促進に向けた取り組み】

- ・Amazonポイントによるインセンティブ
- ・個人宛のメール
- ・サイネージによるDVDの放映、チラシ設置（3事業所）
  - ・ポスターの掲示（各事業所）
- ・ESG推進室社内特設Website掲載
- ・労働組合紙に各機能の利用促進記事を連載
- ・社内報に利用促進の記事を掲載
- ・社内ネットニュースへの再掲載

#### 4. 主な活動報告

### B-1 喫煙者（肥満者を含む）への禁煙支援 ・オンライン禁煙支援の導入 対象者（喫煙者）

●メールを活用して禁煙に必要な情報の提供をし、回答により情報を個人にパーソナライズして提供。  
12週間の毎週\*1支援により習慣化を支援。







## 4. 主な活動報告

### ● 禁煙成功者のコメントは以下の通りである。

参加者の声
<b>禁煙成功者①</b> <p>■喫煙本数：12本（1週）→ 0本（2週以降）</p> <p>■コメントと返信例：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自信がないです</li><li>・吸いたくなると呼吸が苦しくなる気がして、口の中に唾液が落ちてくる。さらに動悸が激しくなっている感じがする。これが禁煙症状なのでしょうが。</li></ul> <p>【アドバイザー】離脱症状は個人差もありますが、同じような症状を感じる方もいらっしゃいます。ですが、呼吸がとても苦しい状況が続いた場合は、念のため病院の受診もご検討下さいね。また、離脱症状のピークは禁煙後約3日後とされていますが最大で2~3週間続くとも言われています。今が1番辛い時期かもしれませんが、ここを乗り越える事が禁煙成功へのカギです。引き続き、卒煙目指し一緒に頑張りましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・今は禁煙できていますが、吸いたくてたまらない一瞬があります。そんな時に強烈なストレスが発生したらコンビニに駆け込むかもしれません。</li></ul> <p>過去2回の失敗は「嫁と大喧嘩」、「仕事で理不尽な目に遭う」で吸い始めました。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・いろいろとご支援ありがとうございました。今回は、失敗してもいい、気負わずにやろう。ということで始めたのが良かったのかもしれない。今後もそんな気持ちで禁煙を続けようと思います。</li></ul>
<b>禁煙成功者②</b> <p>■喫煙本数：12本（1週）→10本（2週）→5本（6週）→8本（8週）→0本（9週以降）</p> <p>■コメントと返信例：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・過度なストレスにならなければ良いな〜と心配ですが、がんばりたいと思います。</li><li>・「タバコを吸わないと眠くなる」というのも心の依存状態とありました。これは、当てはまります。禁煙の妨げになっている自身の甘え部分を良く考え行動したいと思います。</li><li>・息休みの喫煙を減らす為に、居寝や散歩に切り変える事で本数を減らす努力をしていますが、まだまだ、完全に禁煙出来ていないので続けて行きます。</li><li>・以前禁煙チャレンジした際、禁煙のストレスとダイエットの負担で禁煙よりもダイエットを優先しました。その際、ダイエットは成功して数値が全て健康値に戻りました。今も、体重維持のための食欲を気を付けて過ごしています。禁煙できなかったのは、体重増加が一番気になった事です。今度は、禁煙を優先して自分に合う方法を見つけたいと考えてます。</li></ul> <p>【アドバイザー】禁煙するうえで体重増加が心配と仰る方が非常に多いです。そこで、体重管理に関して下記が参考になると幸いです！※合わせて運動を併用する事がより効果的です。間食にお勧めなもの⇒*ナッツ・スルメイカ・おしゃぶり昆布・食べる子魚・高カカオチョコ・プレーンのヨーグルト・チーズ・とろろてん・無糖の炭酸水など。食事の摂り方のポイント⇒※血糖値の急上昇を抑える事で、糖が脂肪に変わりにくくなります。*毎食野菜を摂る。（イモ類は糖質が多い為、葉物系のお野菜がおススメ）*食事は野菜から先に食べ、最後に糖質の多い物（ご飯・パン・麺類・お菓子・ジュース・一部のお酒など）を食べる。*ゆっくりとした食事を心がける。（1口30回噛むなど）*単品料理ではなく、おかずが2~3品つくような定食のような食事を心がける。*1食当たりのご飯の量は、自分の握りこぶし1個分を目安に摂る。（食パンであれば6枚切り1枚が目安です。）*麺類×ご飯など糖質の多い食事の組み合わせを避ける。*なるべく夜遅い時間の食事を避ける。（遅くなってしまう場合は、糖質の摂り過ぎを避けおかず中心の食事を心がける）*朝・昼・夕食のうち、夕食では腹八分目で食事を楽しむ。*飲み物は水やお茶、無糖の炭酸水など無糖のものにする。</p>

## 4. 主な活動報告

### ● 減煙成功者のコメントは以下の通りである。

減煙成功者
<p>■喫煙本数：15本（1週） → 2本（4週） → 7本（5週） → 9週（10本） → 7本（11週以降）</p> <p>■コメントと返信例：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・禁煙を始めました。常にではありませんが、時々タバコを吸いたくなることがあります。今はニコチンガムを利用して気を紛らわしています。</li><li>・先週に比べて本数は増えましたが、<b>どういう時に吸ってしまうかの理解は出来てきた気がします</b>。今気にしていることは、<b>立て続けに吸わないことと、自分がいつ吸っているかを把握すること</b>です。ここから更に本数を減らすために、どのタイミングが我慢できるかを考え、実行していきたいと思います。</li></ul> <p>【アドバイザー】仰るように、タバコを吸った記録を細かく把握しておくことは重要です。その際、1日何本吸ったかではなく、何時何分にどこで吸ったか、また、<b>どういう理由（モチベーション）で吸ったかを事細かに記録する事も効果的</b>です。その結果、「この場面なら我慢できるかも」とさらなる減煙のきっかけとなるかもしれませんね！</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・別プログラムで減量にもチャレンジしています。朝、昼のウォーキングを続けるように頑張っていますが、禁煙と同時に行うのはなかなか難しいと感じています。今週のメールにあった<b>ストレスを感じた時に吸ってしまうというのも当たっている</b>気がします。</li><li>・<b>喫煙本数は減らすことが出来ているので、まずは今の状態をキープすること</b>。また、今後さらに少しずつ減らしていけるように努力します。</li></ul>
その他ご意見・ご感想
<ul style="list-style-type: none"><li>・禁煙のきっかけになりました。<b>参加しなかったら、おそらく禁煙してなかった</b>と思います。</li><li>・3か月間ありがとうございました。<b>メルマガが非常に分かりやすく、勉強になりました</b>。</li><li>・少なくとも本数を減らすことができたので非常に有益でした。ありがとうございました。</li></ul>

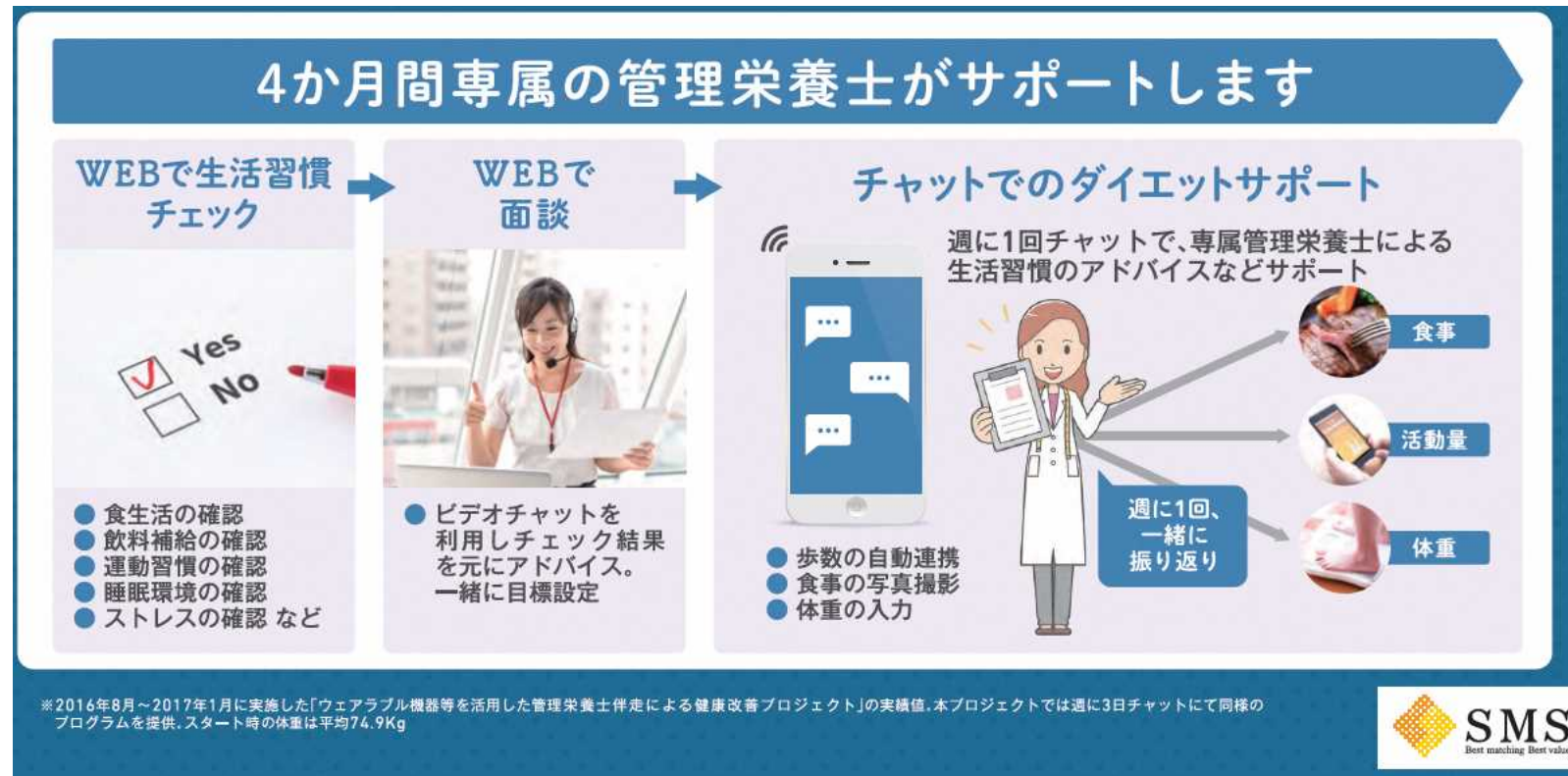


#### 4. 主な活動報告

### B-2 高リスク者に対する糖尿病重症化予防支援

#### ・オンライン生活習慣指導 対象者（糖尿病の高リスク者）

- オンラインを活用して、4か月間専属の管理栄養士がサポートし、重症化予防支援を実施した。



#### 4. 主な活動報告

### B-2 高リスク者に対する糖尿病重症化予防支援

#### ・オンライン生活習慣指導 対象者（糖尿病の高リスク者）

##### ①糖尿病重症化予防支援参加者数

参加者目標5名に対し、実績5名参加（100%達成）。5名とも途中離脱なく4か月のサポートプログラムを完了したため、目標達成とした。

##### ②体重減少者率

目標50%（減少者3名）に対し、実績60%（減少者3名）であり、目標達成とした。  
 なお、国のプログラムに準拠し、通院中の方についても無理のない体重減少を目指している。

参加者	性別	年齢	指導前体重 (kg)	指導後体重 (kg)	成功
Aさん	男性	56	98.0	94.4	○
Bさん	男性	56	90.0	88.0	○
Cさん	女性	43	80.2	79.9	○
Dさん	男性	50	80.3	80.9	×
Eさん	男性	58	72.2	72.9	×

#### 【指標定義】

体重減少者数/参加者数 (%) ※1 体重減少者 = 初回面談時より指導評価時の体重が減少した方

サービス名	参加者数	成果指標 達成者数	変化なし	取組失敗者	途中離脱者	成果指標 達成率	成果指標 達成目標	目標 達成有無
	①②は面談実施者数	①②は体重減少者数, ③は禁煙/減煙成功者数		体重増加or 喫煙本数増加		D列/C列		
重症化予防	5	3	0	2	0	60%	50%	達成
疾病予防	65	45	7	10	3	69%	50%	達成
禁煙指導	17	15	2	0	0	88%	50%	達成

#### 4. 主な活動報告

### B-3 若年肥満者等に対する疾病予防支援 ・オンライン食事指導

●個人の属性や生活習慣でパーソナライズした若年肥満者等に対する疾病予防支援をオンラインで実施した。



↑ 製造業（工場勤務者・研究所勤務者）に向けたアドバイスも実施  
（食事の時間帯や社員食堂の利用も考慮したもの）

#### 4. 主な活動報告

### B-3 若年肥満者等に対する疾病予防支援 ・オンライン食事指導

#### ①若年肥満者等に対する疾病予防支援参加者数

参加者目標60名に対し、実績65名参加（100%以上達成）であり、目標達成とした。  
 なお、途中離脱者は3名であったが、本人の状況によるものであり、やむを得ないものとした。

#### ②体重減少者率

目標50%（減少者33名）に対し、実績69%（減少者45名）であり、目標達成とした。  
 なお、本来期待した若年層に対しては、対象者が少なかったため、次年度の検討課題とした。

	性別	年齢	指導前体重(kg)	指導後体重(kg)
1	男性	44	66	63.1
2	男性	42	102	100
3	男性	42	64	63
4	男性	58	73.9	71.8
5	男性	55	90	89.6
6	男性	58	66.4	62.6
7	男性	46	69.8	68.6
8	男性	56	66.3	63.5
9	男性	60	82.3	78.8
10	男性	59	69.5	68.3
11	男性	50	68.9	67.1
12	男性	46	64.8	62
13	男性	60	77	76.5
14	男性	53	70.3	70
15	男性	54	75.4	72
16	男性	52	62.4	60.6
17	男性	52	66	64.9
18	男性	45	73.8	71
19	男性	57	71.3	69
20	男性	55	64.6	61.9
21	男性	55	81	78.8
22	男性	62	114.6	112.6
23	男性	45	88	84.5

	性別	年齢	指導前体重(kg)	指導後体重(kg)
24	男性	61	69.2	68.6
25	男性	56	69.2	68.6
26	男性	51	53	52.2
27	男性	52	77.1	76.6
28	女性	47	90	88.6
29	男性	60	83.1	83
30	男性	58	64	63.1
31	男性	50	65	63.5
32	男性	63	57.2	55.7
33	男性	51	84	83.8
34	男性	55	97	95
35	男性	56	57.3	56.7
36	男性	52	67.5	66.5
37	男性	61	64	63.6
38	男性	58	68.2	67.9
39	女性	33	59	56.7
40	男性	51	68.5	67.7
41	男性	56	94	86.3
42	男性	47	70.6	68.8
43	男性	62	58	57.5
44	男性	44	82	80.9
45	男性	61	75.9	75.5

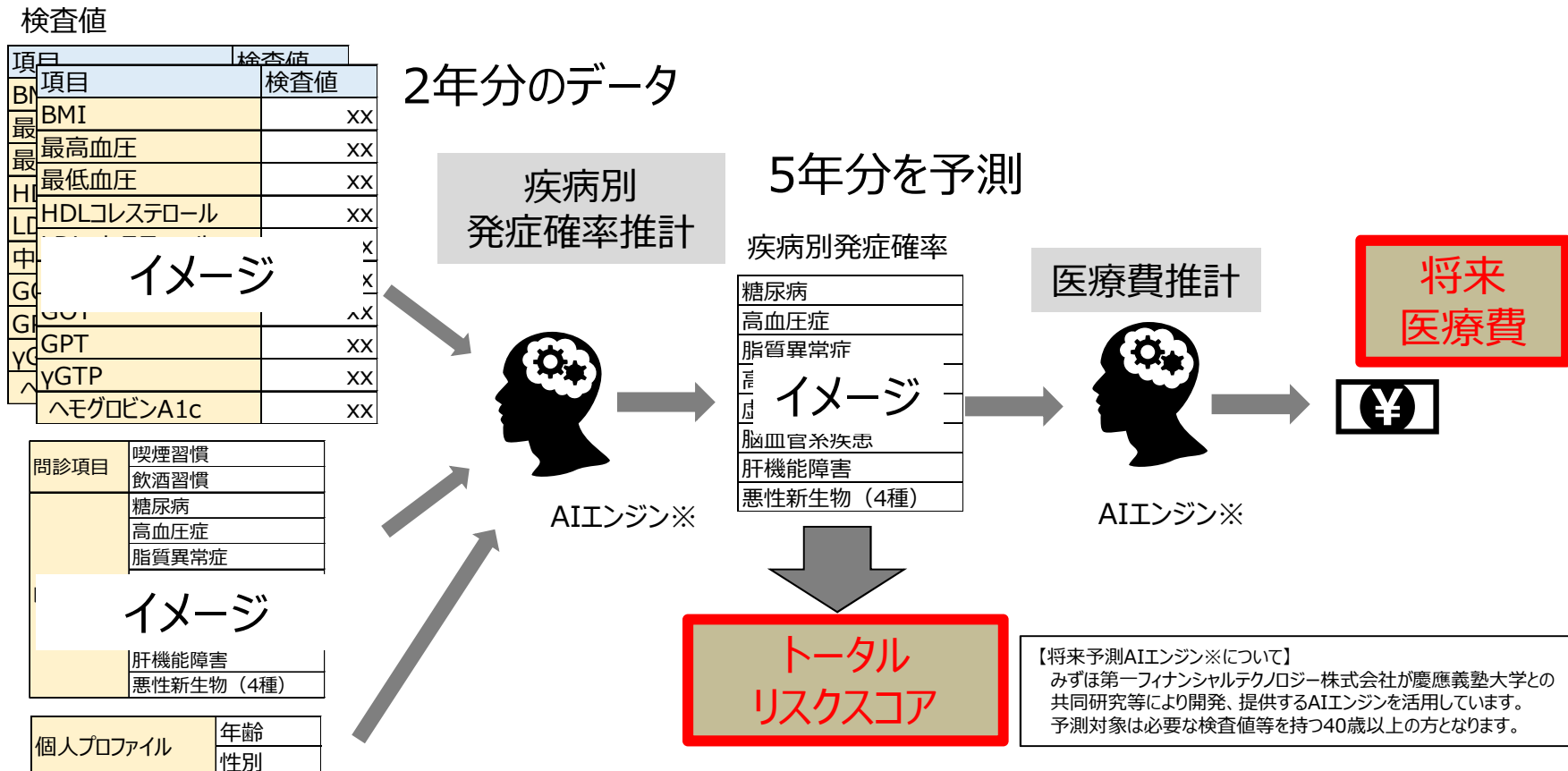
#### 4. 主な活動報告

### 医療費適正化への貢献

●どのような医療費削減の期待成果が得られたかを、将来医療費予測AIを用いて試算、成果を評価した。将来医療費予測AIの概要は以下の通りである。

2年分の検査値や問診項目、受診状況、個人プロフィールから「**トータルリスクスコア**」と「**5年分の将来医療費**」を予測

将来医療費予測のイメージ



#### 4. 主な活動報告

● 本事業で実施したA～Dの保健事業の結果について将来医療費予測AIを用いて試算、成果を評価した結果は以下のとおりである。

**A 被保険者全体に対する食事・生活習慣の改善**  
・健康増進アプリの導入

**C 高リスク者に対する糖尿病重症化予防支援**  
・オンライン生活習慣指導の導入

**B 喫煙者（肥満者を含む）への禁煙支援**  
・オンライン禁煙支援の導入

**D 若年肥満者等に対する疾病予防支援**  
・オンライン食事指導の導入

	成果指標	実績	成果評価
将来医療費 予測AI	①A アプリを実施した方の 将来医療費 削減期待成果 1,000円／人／年	削減期待成果 3,267円／人／年	達成
	②BCDのいずれかを 実施した方の将来医療費 削減期待成果 10,000円／人／年	削減期待成果 1,357円／人／年	50%達成

#### 4. 主な活動報告

● Aのアプリを実施した方の将来医療費を予測した結果は以下の通りである。

#### ①A アプリを実施した方の将来医療費削減期待成果

AとBCDいずれか	実施前予測医療費 (円)	実施後予測医療費 (円)	医療費削減期待成果 (円)
1	155,060	144,761	10,298
2	124,008	122,462	1,546
3	142,919	142,967	-48
4	115,324	109,693	5,631
5	108,782	109,874	-1,092
平均	129,212	125,952	3,267

#### 【再掲】

**A 被保険者全体に対する食事・生活習慣の改善**  
・健康増進アプリの導入

**B 喫煙者（肥満者を含む）への禁煙支援**  
・オンライン禁煙支援の導入

**C 高リスク者に対する糖尿病重症化予防支援**  
・オンライン生活習慣指導の導入

**D 若年肥満者等に対する疾病予防支援**  
・オンライン食事指導の導入



#### 4. 主な活動報告

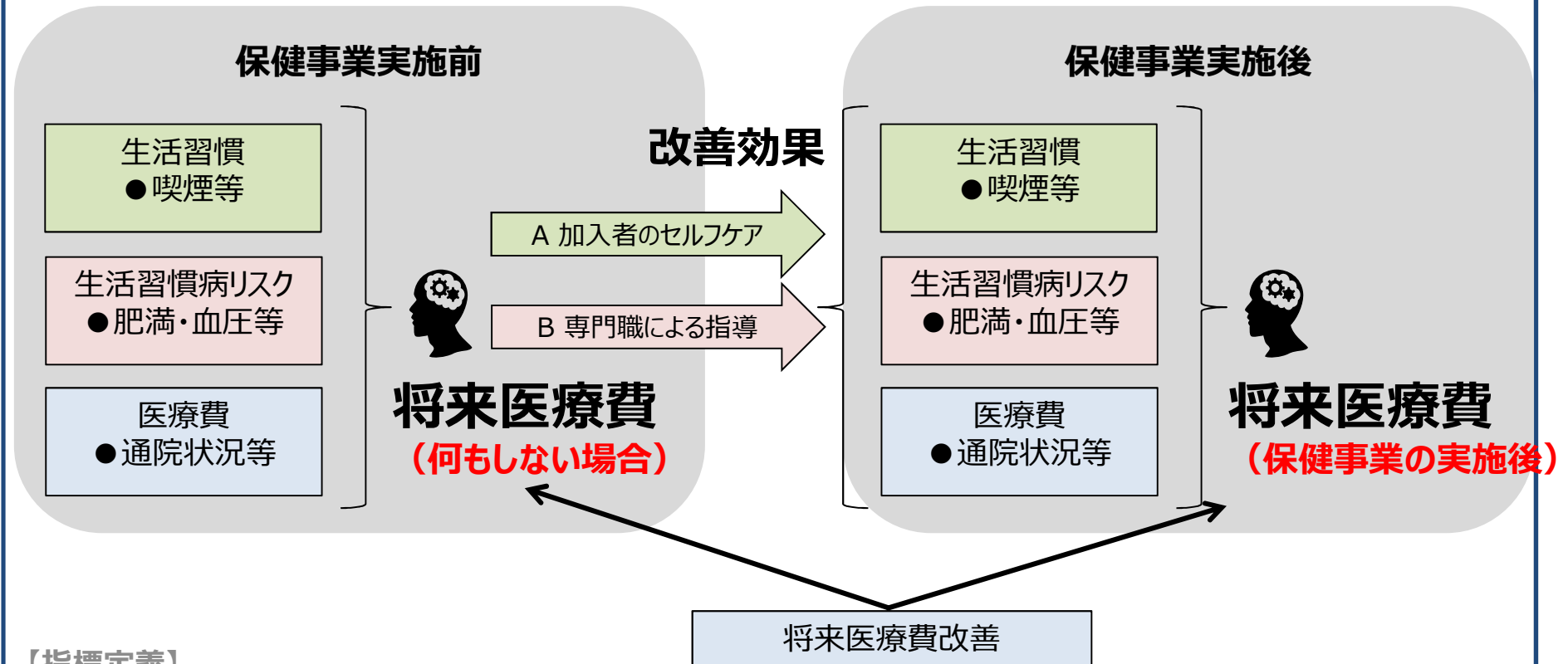
●BCDのいずれかを実施した方の将来医療費を予測した結果は以下のとおりである。今後は、血液検査等を組み込み、測定する指標を増やすことで、対応していきたい。

#### ②BCDのいずれかを実施した方の将来医療費削減期待成果

BCDいずれか	実施前予測 医療費 (円)	実施後予測 医療費 (円)	医療費削減 期待成果 (円)	BCDいずれか	実施前予測 医療費 (円)	実施後予測 医療費 (円)	医療費削減 期待成果 (円)
1	209,531	188,447	21,084	33	358,012	357,737	275
2	172,562	156,802	15,760	34	394,530	394,335	195
3	131,190	116,414	14,776	35	444,238	444,087	152
4	120,194	106,162	14,033	36	242,485	242,411	73
5	260,291	246,261	14,030	37	142,919	142,967	-48
6	212,457	198,829	13,628	38	108,782	109,874	-1,092
7	245,057	231,743	13,314	39	156,072	157,331	-1,259
8	351,477	338,552	12,925	40	212,169	213,672	-1,503
9	155,060	144,761	10,298	41	215,305	216,999	-1,694
10	172,249	162,535	9,715	42	265,431	267,373	-1,942
11	193,694	185,856	7,838	43	308,201	310,690	-2,488
12	279,007	271,720	7,287	44	354,477	357,251	-2,774
13	253,255	246,833	6,422	45	237,463	240,393	-2,931
14	295,328	289,029	6,299	46	335,246	339,194	-3,948
15	115,324	109,693	5,631	47	220,830	225,163	-4,333
16	267,448	261,823	5,625	48	214,798	220,085	-5,288
17	166,300	161,529	4,771	49	53,200	58,599	-5,399
18	193,989	189,807	4,182	50	102,694	108,134	-5,440
19	144,584	140,499	4,084	51	185,442	191,402	-5,960
20	120,466	116,419	4,046	52	328,580	334,857	-6,277
21	317,617	313,934	3,683	53	138,689	145,706	-7,017
22	179,896	176,512	3,383	54	224,272	231,609	-7,337
23	273,793	271,572	2,222	55	163,677	172,721	-9,044
24	359,029	357,047	1,982	56	215,468	226,230	-10,762
25	225,224	223,308	1,916	57	98,347	114,072	-15,724
26	328,296	326,425	1,870	58	288,399	304,665	-16,265
27	140,023	138,203	1,821	59	152,098	172,482	-20,384
28	124,008	122,462	1,546	平均	224,420	222,620	1,357
29	174,705	173,386	1,318				
30	238,251	236,937	1,313				
31	298,609	297,789	820				
32	336,450	335,746	704				

#### 4. 主な活動報告

●改善効果シミュレーションの概要は以下の通りである。



#### 【指標定義】

##### ①AかつBCD（いずれか実施者）の将来医療費改善

Aアプリ利用者かつBCD指導実施者について、  
喫煙、体重を指導後の値に置き換え予測を実施

##### ②BCD（いずれか実施者）の将来医療費改善

BCD指導実施者について、  
喫煙、体重を指導後の値に置き換え予測を実施

※本事業においては、測定可能要素である  
喫煙、体重のみを用いて評価を実施

※将来予測の過程で乱数を発生するため、同じ条件でも将来医療費が増える  
場合があることから、評価は将来医療費が減少した方のみを抽出している

## 5. 保健事業としての成果と評価

### ● 保健事業としての成果および評価は以下の通りである。

定義	短期成果 実施者の行動変容	中期成果 介入指導の成果	長期成果 医療費の適正化
指標	セルフケア推進度の向上	特定保健指導該当率の減少	将来医療費の減少
保健事業	アプリによる健康増進	重症化予防・疾病予防・禁煙支援	医療費による成果評価
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アプリ登録率：13.5%</li> <li>・アプリ活用率（食事）：21%</li> <li>・アプリ活用率（運動）：88%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①重症化予防：体重減少者60%（体重減少者／介入者）</li> <li>②疾病予防：体重減少者69%（体重減少者／介入者）</li> <li>③禁煙支援：禁煙成功者は53%、減煙含めでは88%（禁煙・減煙成功者／介入者）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康アプリ実施者の将来医療費改善効果：アプリ活用後の体重、腹囲、BMIの変化をもとに医療費改善効果を算出。効果としては、年間3,267円／人</li> <li>・介入者の将来医療費改善効果：介入後の体重、腹囲、BMIの変化をもとに医療費改善効果を算出。効果としては、年間1,357円／人であった。</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業主、組合と連動しての周知により短期間ではあるものの登録率は十分評価できる数字である</li> <li>・機能が豊富であることと、機能についても周知を行ったことから活用率も高い</li> </ul>	積極的な周知により目標以上の実施者を集めるとともに、オンラインに即した指導であり、目標以上の成果を出すことに成功した	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診から指導までの体重増加や血液検査等の数値の改善の取り込みなど課題はあるものの、医療費改善効果を定量的に算出できたことを評価している</li> <li>・アプリを活用する健康意識が高い方は健診から指導までの体重変化が少なく想定より高い改善効果となった。</li> </ul>

## 6. PFS事業としての成果

定義	A 短期成果 実施者の行動変容	B 中期成果 介入指導の成果	C 長期成果 医療費の適正化
指標	セルフケア推進度の向上	特定保健指導該当率の減少	将来医療費の減少
保健事業	アプリによる健康増進	重症化予防・疾病予防・禁煙支援	医療費による成果評価
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アプリ登録率（登録者／ID発行者数）：実績値 13.5% 目標値：15% 達成率：90%</li> <li>・アプリ活用率（活用者／登録者数） アプリ活用率（食事）：実績値21% アプリ活用率（運動）：実績値88% 目標値：15%（食事、運動のいずれか）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①重症化予防（体重減少者／介入者）：実績値 60% 目標値：50% 達成率：100%</li> <li>②疾病予防（体重減少者／介入者）：実績値 69% 目標値：50% 達成率：100%</li> <li>③禁煙支援（禁煙・減煙成功者／介入者）： 禁煙成功者 実績値：53% 減煙含めて 実績値:88% 目標値：50% 達成率：100%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康アプリ実施者の将来医療費改善効果： 実績値：年間3,267円／人 目標値：年間1,000円／人 達成率：100%</li> <li>・介入者の将来医療費改善効果： 実績値：年間1,357円／人 目標値：年間10,000円／人 達成率：50%（医療費削減を見込めたことを評価）</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指標の設定、計算方法は適切であった</li> <li>・目標設定を置くことで登録の先の利用率まで見据えての周知、案内ができたことは評価している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指標の設定、計算方法は適切であった</li> <li>・目標設定を置くことで周知についてもより具体的な内容を伝えることができ募集及び成功につながったと考えている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指標の設定、計算方法は適切であったものの、医療費改善を見込むための血液検査等の要素の拡充は必要であること、健診時から体重変化を意識する必要があることが分かった</li> <li>・目標値をどのように設定すれば適切化はこれからも経験値を高め、検討していきたい</li> </ul>

## 7. 今後の事業方針

- 最終成果の目標設定の検討余地はあるもののロジックモデルの全体としては妥当であり、本事業を継続実施することで、最重要指標「特定保健指導該当率の減少」に繋がるものと評価した。
- 期間が限られたため、最終成果である医療費適正化の評価に課題を残したが、必要な成果指標の再定義や検査結果等のデータの取得を検討し、見直しを図っていく。

第2期データヘルス計画後半（2021-2023年度）のロジック・モデル

